雨水流出抑制施設点検要領

平成31(2019)年3月

川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課

雨水流出抑制施設点検要領

各施設の点検については、下記の留意の上、「雨水流出抑制施設 点検表(様式2)」等を用いて、現地で施設を確認しながら行ってください。異常の有無がある場合はその内容を記載してください。

- ① 点検年月日、点検者氏名、施設名称を記入する。
- ② 周囲堤の異常(ひび割れ、破損など)の有無を確認する。周囲堤が盛土形式となっている場合は、周囲堤の高さが計画どおりか確認する。

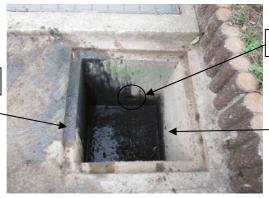


ひび割れや変形があるか?

高さは計画通りか?

放流施設に破損があるか?

③ 放流施設の異常(堆積土砂、構造物の破損、放流孔(オリフィス)の閉塞など)の有無を確認する。排水ポンプの動作確認を行う。



放流孔(オリフィス)が塞がってないか?

土砂の堆積は?

- ④ 表面の異常(堆積土砂による隆起、平坦性など)を目視により確認する。 異常が見受けられる場合は測量を行い、計画貯留量が確保されているか、また、どれだけ貯留量が不足しているか確認する。
- ⑤ 集水マス外見の異常(破損、蓋のずれ、周囲の陥没など)及び内部の異常(堆積土砂など)の有無を確認する。 集水マス内部に堆積土砂がある場合は、堆積高さ(cm)、堆積量(m3)を計測する。 また、浸透機能を有する集水マスについては、目詰まりがないか確認する。 集水マス内部の目詰まり防止装置の異常の有無を確認する。
- ⑥ 側溝外見の異常(破損、蓋ずれ、周囲の陥没など)の有無を確認する。 側溝内部の異常(堆積土砂など)の有無を確認。堆積土砂がある場合は堆積量を計測 する。

浸透機能を有する側溝については、目詰まりがないか確認する。



側溝や蓋に破損がある?

- ⑦ 浸透トレンチ設置箇所上面の陥没、砕石の露出の有無を確認する。 集水マスからトレンチ内部の土砂・砕石の進入を確認。土砂・砕石の進入が見られる 場合は管底からの堆積高さ等を計測する。
- ⑧ 点検結果から必要となる措置及び講じた措置などを記載する。

記載例1:集水マス及び側溝に土砂の堆積があるため、〇〇月に清掃を行った。 記載例2:側溝に土砂の堆積が認められるが、微量であるため状況観察とする。 記載例3:「管理者」が無くなっており、復旧する必要がある。〇〇月に対応予定。

⑨ 点検時に施設全景、構造物(オリフィス、周囲堤、浸透側溝など)の現状写真を撮り、 貼付する。特に異常があった場合には、その内容がわかる写真としてください。